

株主メモ

Shareholders' Memo

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
期末配当金の受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金の受領株主確定日	毎年9月30日
公告方法	電子公告とする。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告をすることが出来ない場合は日本経済新聞に掲載して行う。
株主名簿管理人・ 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL. 0120-094-777(通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店 株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行株式会社の電話及びインターネットでも24時間承っております。 TEL.(通話料無料) 0120-244-479(本店証券代行部) 0120-684-479(大阪証券代行部) インターネットホームページ http://www.tr.mufg.jp/daikou/ ※上記取次所においては、特別口座に記録された株式についてのみお取扱いしております。特別口座以外で株式を管理されている株主様は、口座を管理されている各証券会社経由でお願いします。



株式会社 ミューチュアル

〒530-0047 大阪市北区西天満一丁目2番5号 大阪JAビル9階
TEL. 06-6315-8613 FAX. 06-6315-8618 URL. <http://www.mutual.co.jp/>

第72期報告書

自 2015年4月1日 至 2016年3月31日

Engineering Professional

- Engineering
- Development
- Manufacturing
- Maintenance
- Trading



ミューチュアル “互いに協力する共存の精神”

創業以来、守り続けてきた「共存共栄」の精神をもとに、人々の暮らしに欠かすことのできない医薬品、化粧品、食品などのより安全で、より効率的な生産ラインをサポートし、社会の発展に貢献しつづけます。

この度の熊本地震において、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災されたすべての方に心からのお見舞いを申し上げます。一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

【目指すべき方向性】
当社グループ独自の付加価値を強化



代表取締役社長 榎本 洋
代表取締役会長 三浦 隆

市場の変化に対応した当社事業の付加価値をつくり出し、利益ある成長を目指す

当社グループは医薬品業界を主たる事業領域として、医薬品業界の成長とともに発展してまいりました。当社が事業を開始した当時の状況は、国内の機械メーカーの技術水準もまだ低く、比較的小規模な企業サイズであり、海外の優秀な機械の紹介・導入、機械設備の受発注における与信機能など、商社機能へのニーズが多く存在しておりました。その後、お客様ニーズの多様化・高度化が進む中で、お客様の個々のニーズに対応する機械のアジャスト・開発ニーズが高まり、エンジニアリング機能・開発機能が求められてきました。

現在、当社グループが事業を営む医薬品業界は、日本政府が推し進めるジェネリック医薬品の普及促進により、設備投資が堅調に推移し、当社グループの業績も増収増益基調にあります。しかしながら、前述いたしました通り、当社グループの発展は、市場ニーズの変化を捉えてきたことにあり、国内機械メーカーの技術水準が高まり、規模も大きくなってきたいま、我々に要望される新しいニーズへの対応、我々がつくり出せる当社グループ独自のサービスを生み出し、変化していかなければなりません。その例が、メーカー機能の強化であり、アフターサービスの商品化です。このように当社グループは、市場構造の変化を睨み、中長期的な“あるべき姿”を策定し、前進を続けてまいります。

大型案件の計上などにより、増収増益を達成いたしました

当社グループを取り巻く経営環境

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

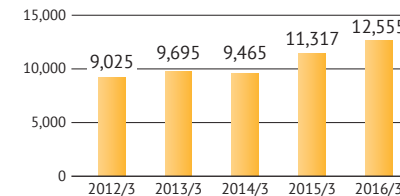
当連結会計年度におきます当社グループを取り巻く経営環境につきましては、マクロ的には、中国をはじめとする新興国の成長減速傾向、地政学的リスク、足下の円高など不透明感が強まる状況でした。このような中で、当社グループの主たる対象の医薬品業界は、2020年度末までにジェネリック医薬品を約80%に引き上げる政府目標により、後発医薬品メーカーの生産拡大の動きが前年度に引き続き堅調に推移いたしました。他方、新薬メーカーは依然として新規設備投資を控える動きがあり、2極化がさらに進んでおります。また、競争状況においては、機械メーカーの参入が進み価格競争等、厳しい状況が続いております。こうした中、お客様のニーズは益々、高度化、多様化し、これらの要求に総合的なソリューションを提供していける企業が勝ち残っていく時代であると認識しております。

当期の業績

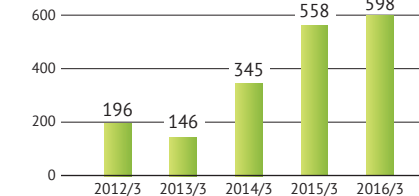
当連結会計年度の状況につきましては、東京・大阪の技術センターを活用した設備・機械類の展示強化を行い、お客様にオリジナル機械、最新技術情報などの紹介・提案を強化するなど、積極的受注活動を展開してまいりました。また、2013年に操業を開始した関東工場の受注も旺盛でフル稼働に近い状況となりました。この結果、売上高は、後発医薬品メーカー向けの大口案件の計上

もあり、前期比10.9%増の125億円を達成。利益面におきましては、子会社で低採算の案件があり売上高総利益率が2.8ポイント低下し、営業利益は前期比0.3%増にとどまりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、法人税等納税充当金などの減少により、前期比7.1%増の598百万円となりました。1株当たりの配当金につきましては、前期に比べ2円増配の25円とさせていただきました。

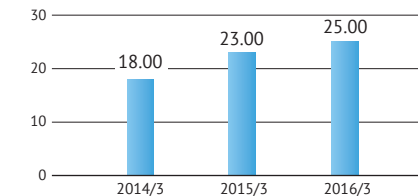
■売上高 単位:百万円



■親会社株主に帰属する当期純利益 単位:百万円



■1株当たり配当金 単位:円



市場の変化を捉え、 エンジニアリング業務の拡大と高付加価値ビジネスを推進

今後の戦略

商社として創業を始めた当社グループは、市場ニーズの変化に合わせ、現在までに5つの専門機能を持つようになってきております。従前より、この5つの機能を相互に連携させ、お客様に総合的なソリューションを提供してきておりますが、今後の持続的成長を叶えていくためには、それぞれの機能のスケールアップと強化が必要です。まずは、医薬品製造設備分野のスペシャリストとしてエンジニアリング業務の拡充を進めてまいります。昨年4月に当社は、製剤設計も含めた医薬品メーカーの生産設備投資全体の企画・設計・コンサルティングができるファーマリード・エンジニアリング株式会社を吸収合併しております。このノウハウを活用して設備投資

プロジェクトの上流から下流まで一貫してサポートできる体制を整え、受注獲得につなげてまいります。また、近況の競争環境の中で、収益の確保に向けて、「開発機能」を強化し、オリジナル機械の開発を進めてまいります。さらに、「メンテナンス機能」の早期事業化を図り、安定収益源を確保してまいります。一方、食品業界、海外市場などの育成市場においては、いまだ知名度が低く、本格参入に向け各種国内外展示会に出展するなどしてプレゼンスの向上に努めてまいります。

このように当社グループは、5つの機能のスケールアップと強化を図り、医薬品業界での不動の位置を固めると同時に、次なる成長への準備を行ってまいります。

Feature

特集 技術センター

技術センターでの提案力を強化

当社グループでは、新たな受注獲得に向けて、お客様との信頼関係を深め、お客様ごとの各種ニーズに適確に応えるために、

東京・大阪の技術センターを活用して、新製品・設備・技術などの展示・提案を強化しています。

【東京技術センター／粉体ラボセンター】

新規分野への本格参入を目指し、当社グループの知名度向上及びノウハウの周知を図るために、2015年10月に粉体ラボセンターを併設・運営を開始。単なる機械設備の展示だけでなく、お客様の設定に合わせた実験・試作やテスト計画の立案も行っています。



【大阪技術センター】

競争力の強化に向けて、研究開発を進めている当社グループのオリジナル機械を広くお客様に紹介するために、展示スペースを設け、展示機を稼働。現在は、当社オリジナル「プリスター包装機」の新型・高性能機を展示し、受注獲得に向けた提案営業を行っています。

ブリスター
包装機

PRESTA6000

PRESTA4000を能力アップしたニューモデルです。PRESTA4000同様に特許取得の加熱成型によりブリスターシートのカールを軽減、型替えの再現性・交換時間の短縮に加え、品種対応部品の省コスト化、作業高さを抑えたコンパクトな設計になりました。



▲PRESTA6000

アルミ成形・
液体充填・密封の
一連機

高付加価値ビジネスに向けて、



▲PRESTA-LIQUID

PRESTA-LIQUID

2枚フィルムから容器を成形、液剤を充填し密封する珍しい方式を採用した機械です。容器に僅か0.5mlから充填可能で、液剤をワンタッチで容器に少しの液剤も残すことなく取り出せます。密封した液剤は空気や光に触れることがないため、それらによる劣化の恐れがある製品の品質維持に効果的です。

オリジナル機械を続々と開発

IJ方式
錠剤印刷・
検査機

IIM (ツーアイム)

従来のグラビア・オフセット方式に変わるインクジェットプリント技術を採用した錠剤印刷・検査機です。印刷、印刷検査、計数管理が可能な上、インクジェットの機能を活かし広範囲な印刷、デザインフリー、従来印刷対象とならなかった素錠への印刷を可能にした画期的な装置です。

打錠
シミュレーター

▶STYL'ONE EVOLUTION

STYL'ONE EVOLUTION

一般的な打錠方式であるロータリー打錠機の充填工程や圧縮工程のシミュレーション（模擬実験）が可能な打錠機です。本機によって、実機を利用することなく製剤開発や工業化の検討が可能となります。製薬業界においては処方検討などの目的で研究所等での活用が期待されます。



▲IIM (ツーアイム)



財務ハイライト

Financial Highlights

財務ハイライト		単位：百万円				
		2012/3	2013/3	2014/3	2015/3	2016/3
売 上 高	連 結	9,025	9,695	9,465	11,317	12,555
営 業 利 益	連 結	435	439	578	918	920
経 常 利 益	連 結	468	341	693	987	956
親会社株主に帰属する当期純利益	連 結	196	146	345	558	598
総 資 産	連 結	11,588	11,295	12,089	14,628	15,167
純 資 産	連 結	7,134	7,406	7,579	8,142	8,701
発行済株式総数(千株)	単 体	7,920	7,920	7,620	7,620	7,620

セグメント情報

Segment Information

事業別売上高				単位：百万円		
		2014/3	2015/3	2016/3		
産業用機械事業		8,855	10,633	11,953		
一連ライン		797	1,095	1,875		
製 剤 機		936	394	2,032		
充 填 機		1,150	1,855	2,344		
検査装置		1,178	1,973	1,590		
包 装 機		1,925	2,614	1,706		
部 品		744	801	807		
改造・調整・修理		2,122	1,899	1,596		
工業用ダイヤモンド事業		531	606	540		
その他事業		78	76	61		
合 計		9,465	11,317	12,555		

毎年9月30日を基準日に、「株主優待制度」を開始いたしました

当社は業績に連動した配当を基本にしておりますが、当社株式への投資魅力を高め、より多くの方々に中長期的に当社株式を保有していただくことを目的として、9月30日を基準日とした株主優待制度を導入いたしました。

[制度の概要]

(1) 対象となる株主様 毎年9月30日現在の株主名簿に記載された、当社株式1単元(100株)以上保有されている株主様を対象といたします。

(2) 株主優待の内容 次のとおり、保有株式数に応じて、優待品を贈呈いたします。

保有株式数	優待の内容
100株以上 1,000株未満	選べる優待品 1,500円相当
1,000株以上 5,000株未満	選べる優待品 3,000円相当
5,000株以上	選べる優待品 5,000円相当



株式基本情報

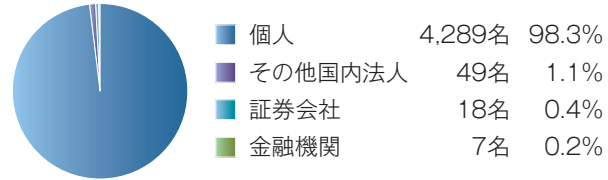
発行可能株式総数	17,000,000株
発行済株式の総数 (うち自己株式数)	7,620,320株 (518,345株)
株主数	4,363名

大株主

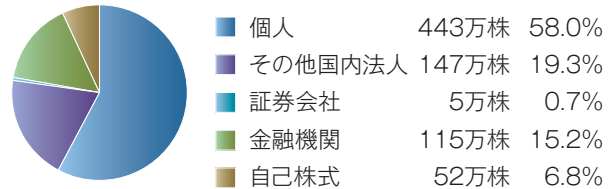
	持株数	持株比率
有限会社エム・ティ・シー開発	1,043千株	14.7%
MTC社員持株会	525千株	7.4%
株式会社三井住友銀行	352千株	5.0%
ミューチュアル取引先持株会	276千株	3.9%
株式会社三菱東京UFJ銀行	264千株	3.7%
日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口)	228千株	3.2%
三浦 隆	205千株	2.9%
三浦 雅子	199千株	2.8%
豊田 容梨子	174千株	2.5%
森崎 真規子	173千株	2.4%

(注)持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株主分布状況



所有者別株式分布状況



会社概要 (2016年3月31日現在)

社名	株式会社 ミューチュアル
会社設立	昭和24年(1949年)2月14日
資本金	6億6,970万円
本社	大阪市北区西天満一丁目2番5号
社員数	(連結) 149名 (単体) 118名
事業内容	自動包装機械及び関連機器の設計・製作・輸出入販売 設備ライン化のための機械設計及び製作 機械器具設置工事 工業用ダイヤモンドの輸入販売

役員 (2016年6月29日現在)

代表取締役会長 兼 CEO	三浦隆
代表取締役社長	榎本洋
取締役 専務執行役員西日本営業担当 兼 大阪営業部長	安東勝浩
取締役 常務執行役員東日本営業担当 兼 東京支店長	川島浩二
取締役 関東工場長	杉崎扶三男
取締役 管理本部長 兼 総務部長	吉野尊文
取締役 (社外)	日比野俊彦
監査役 (常勤)	住中秀和
監査役 (社外)	北川和郎
監査役 (社外)	中西清

事業所 (2016年4月1日現在)

本社	〒530-0047 大阪市北区西天満一丁目2番5号 大阪JAビル9階 TEL.(06)6315-8613 FAX.(06)6315-8618
東京支店	〒101-0041 東京都千代田区神田須田町二丁目11番 協友ビル9階 TEL.(03)5296-7071 FAX.(03)5296-0007
静岡営業所	〒420-0033 静岡市葵区昭和町10番6号 富士岡第1ビル3階 TEL.(054)255-4471 FAX.(054)255-4472
福岡営業所	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東二丁目4番17号 第6岡部ビル5階G室 TEL.(092)477-6751 FAX.(092)481-2461
富山営業所	〒930-0004 富山市桜橋通り5番13号 富山興銀ビル12階 TEL.(076)445-5257 FAX.(076)442-3338
大阪技術センター	〒595-0043 大阪府泉大津市清水町3番36号 TEL.(0725)21-1130 FAX.(0725)21-6970
東京技術センター 粉体ラボセンター	〒343-0822 埼玉県越谷市西方3129 TEL.(048)987-1751 FAX.(048)987-1752
関東工場	〒289-1144 千葉県八街市八街ろ55-125 TEL.(043)440-0530 FAX.(043)440-0531

グループ会社 (2016年4月1日現在)

- 日伊包装株式会社
- 株式会社ウイスト
- Mutual (Thailand) Co., Ltd.
- 三晴精機株式会社